

## 第11回石巻市環境放射線対策本部会議要旨

日 時 平成27年10月5日  
午前9時25分から  
午前9時50分（庁議終了後）  
場 所 庁議室

### [報告事項]

- 1 空間放射線量及び住民持込み食品等放射性物質検査の状況について【環境放射線対策室】
  - ①市内各小中高幼稚園保育所における空間放射線量測定結果について【資料1・2・3】
    - ・平成23年7月から平成27年4月の測定結果については、基準値（0.23マイクロシーベルト/時）（以下「空間線量基準値」とする。）を超過した箇所はなく、平成25年度あたりから0.04から0.08マイクロシーベルト/時に落ち着いてきており、事故前の自然放射線量の値に戻っている。
    - ・牡鹿地区の鬼形I.C付近では0.16マイクロシーベルト/時を観測しているが、空間線量基準値を下回っている状況にある。
  - ②住民持込み食品等放射性物質検査結果について【資料4】
    - ・平成24年度は138件の検査件数であったが、平成26年度は39件、平成27年度（4月から8月）は8件と検査件数が減少している。
    - ・基準値（100ベクレル/キログラム）（以下「食品基準値」とする。）を超過したものは、山菜、キノコ、クロダイなどとなっている。
  - ③空間放射線量簡易測定器貸出実績について【資料4】
    - ・貸出を開始した平成24年度は75件の貸出を行っているが、今年度（4月から8月）の貸出実績は1件と激減しており、日常生活における空間放射線量に対する市民の関心も落ち着いてきている。
- 2 水産物及び農林産物の放射性物質検査の状況について【産業部】
  - ①水産物放射性物質検査の状況について【資料5】
    - ・平成27年度（4月から8月）は11品目2,139件の検査を実施したが、食品基準値を超過したものはない。
    - ・平成28年度の検査体制については平成27年度と同様に、石巻卸売市場5台、牡鹿総合支所1台、北上総合支所1台の合計7台で検査を継続する。
  - ②農林産物放射性物質検査の状況について【資料6】
    - ・平成26年度は14品目44件の検査を実施したが、食品基準値を超過したものはない。また、県の補完的な調査であるため検査件数も少なくなっている。
    - ・平成27年度（4月から8月）は4品目7件の検査を実施したが、検査ニーズも大幅に減少しているため、平成27年度をもって検査を終了とする。
- 3 平成28年度の検査体制について【環境放射線対策室】【資料7・8・9】
  - ・現在は市内135施設において測定を実施しており、学校や市立幼稚園は毎週、市保育所や公共施設は月2回の測定を実施している。
  - ・現在の135施設については隣接する箇所も多いことなどから、平成28年度は幼稚園や保育所を中心として測定を行うこととし、現行135施設から60施設に縮小し、新たに網地島・田代島を加えて合計62箇所に縮小することとする。
  - ・平成28年度の各地区の測定箇所については資料8・資料9のとおりとする。

- ・産業部で実施している農林産物の測定については平成28年度から廃止するという説明であったため、環境課の業務に統合することとする。
- ・子育て支援課や学校管理課で行っている市立保育所や学校給食の食材検査については来年度以降も継続することとする。

#### 4 環境放射線対策本部の今後のあり方について【環境放射線対策室】【資料10】

- ・福島原発事故対策のために「対策本部」を設置しているのは県内で石巻市のみとなっている。また、放射線対策室という課を設置しているのは、本市のほか、栗原市、大崎市、白石市となっており、比較的高い放射線量が確認された市のみとなっている。
- ・現在の市内の空間放射線量は事故前の自然放射線量の値に戻ってきており、現時点においては新たに放射性物質や放射線が放出される状況にはない。
- ・以上のことから、平成27年度をもって石巻市環境放射線対策本部を解散し、対策本部での協議が必要となるような新たな状況が確認された場合に再度設置することとする。

### [質疑応答]

**質問1** 資料10(19頁)について、「汚染状況重点調査地域」欄が本市では「無」、角田市や栗原市では「有り」となっており、また、「指定日」と「解除日」に日付が入っているものとそうでないものがあるが、詳しく教えていただきたい。

**回答1** 汚染状況重点調査地域については、空間線量基準値を超えた場合に環境省から指定されることとなるが、本市では平成25年5月に空間線量基準値を下回ったことが確認され、その後平成25年6月25日に解除されている経緯がある。解除の際には事前に環境省から自治体に打診があり、その後解除を行うこととなるが、角田市や栗原市などはいまだに汚染状況重点調査地域が指定されていることから「解除日」は空欄となっている。

**質問2** 指定や解除は自治体の考えによるということなのか。

**回答2** 指定や解除については、自治体の同意を得てから環境省で行うこととなっています。

**質問3** 資料5(7頁)について、平成27年度(4月から8月)は水産物の検査件数が2,139件となっているが、そのうち、牡鹿や北上での検査件数は何件なのか。

**回答3** 2,139件の検査件数の内訳としては、石巻市場2,102件、牡鹿37件であり、北上は0件となっています。

**質問4** 学校や保育所の空間放射線量測定については了解したが、給食の食材について検査は行っているのか。

**回答4** 給食の食材についても検査を実施しています。

**質問5** 給食の食材の検査体制の見直し(縮小)は考えていないのか。

**回答5** 学校や保育所担当課とも協議を行ったが、給食は子どもたちの身体の成長を支える大事なものであることから、現時点では見直し(縮小)は行わないこととし、当面は継続することとします。

**質問6** 平成28年度から対策本部は廃止することとなるが、測定関係は継続することとなる。測定関係の所管は生活環境部環境課でよろしいのか。

**回答6** よろしいです。

### [その他]

- ・資料6(8頁)の「1 平成26年度農林産物放射性物質簡易検査結果」の表内、「基準値以下欄」の数値「27」を「44」に訂正。

## [決定内容]

- ・農林課で所管している農林産物放射性物質検査については、平成27年度をもって廃止することとし、平成28年度からは環境課で行っている住民持込み食品等放射性物質検査に統合する。
- ・水産課で所管している水産物放射性物質検査については、平成28年度も石巻卸売市場5台、牡鹿総合支所1台、北上総合支所1台の合計7台で検査を継続する。
- ・市立保育所や学校給食の食材検査については、平成28年度も検査を継続する。
- ・空間放射線量測定については、現在の135施設については隣接する箇所も多いことなどから、平成28年度は幼稚園や保育所を中心として測定を行うこととし、現行135施設から60施設に縮小し、新たに網地島・田代島を加えて合計62箇所に縮小することとする。なお、測定については環境課嘱託職員が1施設当たり月2回の測定を行うこととする。
- ・石巻市環境放射線対策本部については平成27年度をもって解散することとし、対策本部での協議が必要となるような新たな状況が確認された場合に再度設置することとする。

以上